

横浜市立 浦舟特別支援学校 小中 部 令和 4 - 6 年度版 中期学校経営方針

学校教育目標
 「自他を大切にし、前向きに生きる力を育みます。」
 ○自ら学び、よりよく解決する力を育みます。
 ○他者を敬う心を育みます。
 ○自分を大切に生活を整える力を育みます。
 ○様々な人とのつながりを大切にすることを育みます。

学校概要	創立 75 周年	学校長 和内 正也	副校長 小滝 愛子	学期制	2学期制
	幼児・児童・生徒数: 22 人	幼稚部: 0 人	小学部: 10 人	中学部: 12 人	高等部本科: 0 人 専攻科: 0 人

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

<自分と向き合う力>
 <人とかかわる力>

育成を目指す資質・能力を踏まえた 「育てる子ども像」と具体的取組

自信をもって主体的に取り組める子ども
 広い視野をもって人々とのつながりを大切にする子ども

・自己肯定感を高められるよう安心できる学習環境を整える。
 ・心身の状態を把握し、自己調整力を身に付ける。
 ・人と関わりの中で、コミュニケーションの力を育む。

中期取組目標
 ○復学後を見据えて、一人ひとりに寄り添い、安心して学べるように指導と支援を行います。
 ・個々の病状や実態に応じた教育の充実を図ります。
 ・様々な経験を通して、多様性を尊重し、人とのつながりを大切にすることを育みます。
 ・保護者、医療、前籍校、関係機関との連携を深め、在籍から復学まで一貫した支援を行います。
 ・GIGAスクール構想を推進し、情報活用能力を育成します。
 ・センター的機能の充実を図り、病弱教育の取組について積極的に発信します。

重点取組分野

具体的取組

知	確かな学力	①医療、保護者、前籍校との連携を深め、一人ひとりのニーズに応じた学習計画を立てる。 ②個に応じた学びと協働的な学びの充実を図り、主体的に学習に取り組む態度を育成する。 ③アンケートの授業評価をもとに学習指導の振り返りと授業改善を行う。
担当	学習指導部	
徳	豊かな心	①子どもに寄り添い、個に応じた活動を通して安心感を高め、主体的に生きる気持ちを育む。②行事を含めた様々な集団活動への参加を通して、自分の役割と責任を自覚しながら活動しようとする態度を育てる。また、他者と関わる経験を積み重ね、互いの良さや違いを認め合い、社会の中で共生する気持ちを育む。
担当	各経営部	
体	健やかな体	①職員、保護者、関係機関との連携を深め、発達段階や病状に応じた生活リズムや生活習慣の形成など、健康に関する授業を計画し、自分の身体や健康についての意識を高める。②学習環境や病状など、活動制限の中でも、取り組みやすい内容や指導方法の工夫を行い、児童生徒が意欲的に身体を動かす機会を設ける。
担当	保健安全部	
公開	センター的機能の充実	①小中高等学校教員対象の公開講座を実施し、病弱児童生徒への理解を深める。 ②復学へ向け、移行教育と転出後のフォローアップを本人・保護者・前籍校に対していねいに行う。 ③連携支援だよりや学校紹介を通して、病弱児童生徒の教育についての発信を行う。
担当	連携指導部	
いじめへの対応		①校内人権研修を充実させ、教職員の人権感覚を高める。②関係諸機関と連携し、安心してスムーズに復学できる環境や手立てを構築する。③自分の思いを他者に伝えられる子どもを育てる。④アンケート等を活用し、子どもの変化や困り感を見逃さない体制づくりをする。
担当	人権・福祉教育推進委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①働き方改革ワークショップを通して、効率的な会議の持ち方等の本校の課題解決に向けた改善策を募り、学校運営に反映させる。②人材育成を充実させるために、初任研や年次研などメンターの効果的な組織運営を図る。 ③専門研修や校内研究を通して、教職員一人ひとりの病弱教育の専門性を高める。
担当	管理職・総務部	
GIGAスクール構想		①ICT研修や会議、授業等、ICT機器活用や実践の積み重ねを通して、教職員一人ひとりの目的に応じて情報を活用する能力を高める。 ②教室や面談室、ベッドサイド、オープンスペース等、多様な授業形態に応じたICT環境の整備充実を図る。
担当	ICT部	
地域学校協働活動		①本校の複合福祉施設や院内学級が入る病院の方々へ、お便りやHP等の発信を通して、本校の教育的活動への理解を深めてもらう。②学校運営協議会委員による学校関係者評価の精度を高めるために、学校運営協議会委員が各院内学級とのオンライン授業や行事を参観する機会を増やす。
担当	総務部	
担当		
担当		